

# 院内がん登録ニュース



2018.02.22 第23号  
がん診療推進委員会

## ● 院内がん登録で2016年に診断された「5大がん」の治療件数

今回は、2016年に診断された「5大がん」の症例のうち、治療に係る件数で最新のデータです。巻末の棒グラフは、2016年1月1日から12月31日までに診断された、「5大がん」の治療件数です。全対象件数1011件（全症例800件・重複あり）のうち、大腸358件（35.4%）、乳房308件（30.5%）、胃201件（19.9%）、肺100件（9.9%）、肝臓44件（4.4%）です。院内がん登録全国集計2016年症例については、今年の夏ごろ、国立がん研究センターから公表される予定です。なお、院内がん登録の集計データは下のフロー図の手順で提出されます。

## ● 国立がん研究センター「がんの冊子」を無料で提供しています。

「医療情報室（がん情報センター）」では、がんの患者さんやその家族等に「がんの疾患」について学習できるように、国立がん研究センターで発行している「がんの冊子（写）」を無料で提供しています。現在、よく利用されている冊子は、「前立腺がん」「子宮頸がん」「大腸がん」「乳がん」「膵臓がん」で、全部で38疾患の冊子を用意しています。この冊子では「子宮頸がん」「子宮体がん」を婦人科の笠松先生が監修しています。

「がんの冊子」は国立がん研究センターのサイトから閲覧できる他、ダウンロードもできます。詳しくは下記をご覧ください。

[https://ganjoho.jp/public/qa\\_links/brochure/cancer.html](https://ganjoho.jp/public/qa_links/brochure/cancer.html)



## ● 区東北部・東部ブロック内「地域がん診療連携拠点病院」相互訪問を行いました。

東京都がん診療連携協議会では、PDCAサイクルの一環として、各地域がん診療連携拠点病院が相互訪問を行い、がん診療への取組みについて意見交換等を行うことで、がん診療の質的向上をはかることを目的に「相互訪問事業」を行っています。墨東病院は「区東北部・東部ブロック（8施設）」に属し、今年度は、聖路加国際病院から訪問を受け、日本医科大学附属病院を訪問しました。聖路加国際病院との意見交換では、「がん情報コーナーの運営」「緩和ケア啓発活動」「ブロック内のがん診療連携」について検討を行いました。また、日本医科大学附属病院への訪問では、がん診療への取組みについて説明を受け、施設見学も行いました。これらの相互訪問をとおして、墨東病院は区東部の公立病院としてがん診療の質的向上を図ることが、都民の負託に応えることであると再度認識しました。



聖路加国際病院との懇談



日本医科大学附属病院のプレゼンテーション



がん診療センター外来

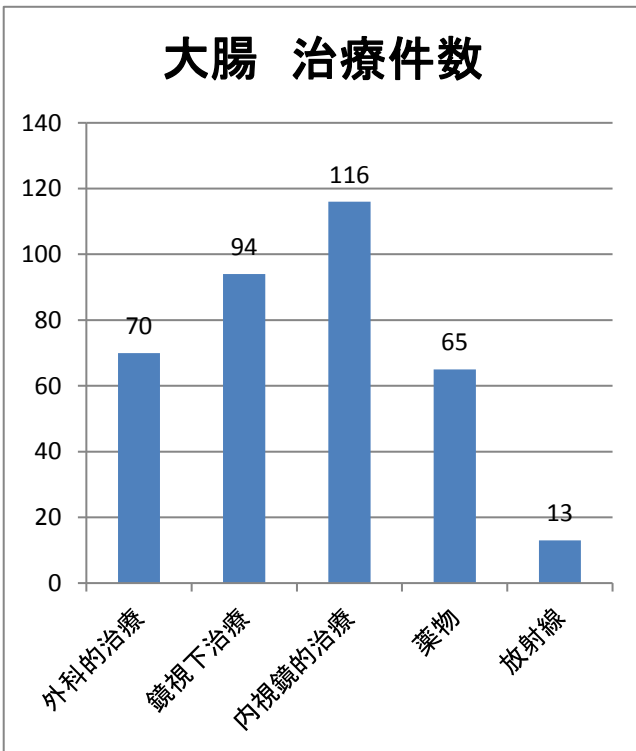


外来化学療法室は20床

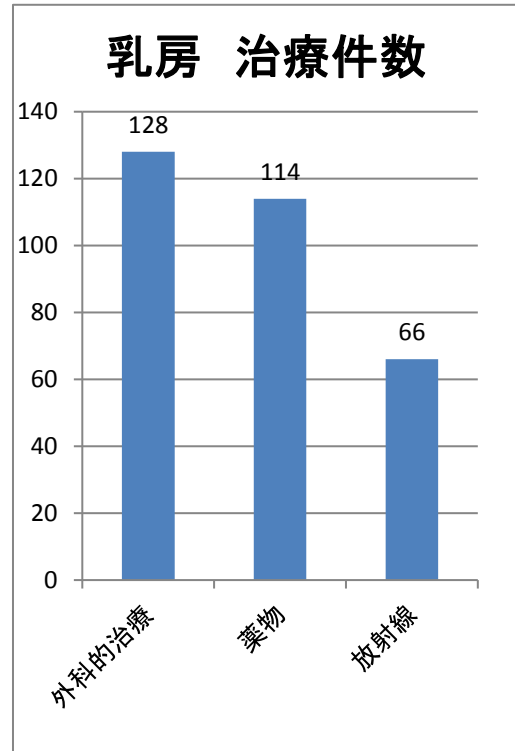


各種検査機器

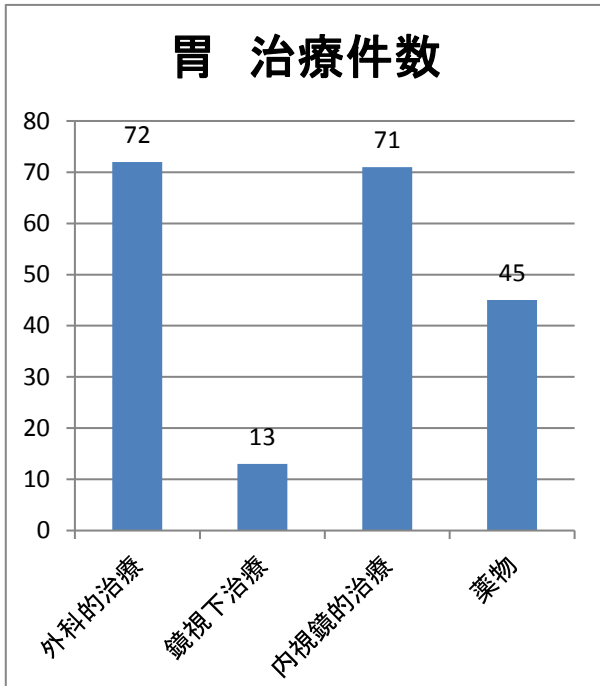
院内がん登録で2016年に診断された「5大がん」の治療件数



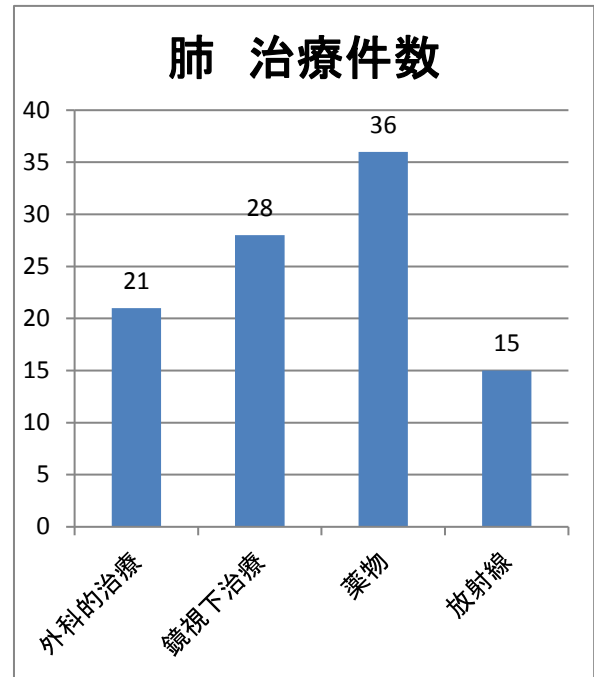
大腸は総数 358 件で、「内視鏡的治療」が 116 件と最も多く、次に「鏡視下治療」94 件、「外科的治療」70 件、「薬物治療」65 件、「放射線治療」13 件です。



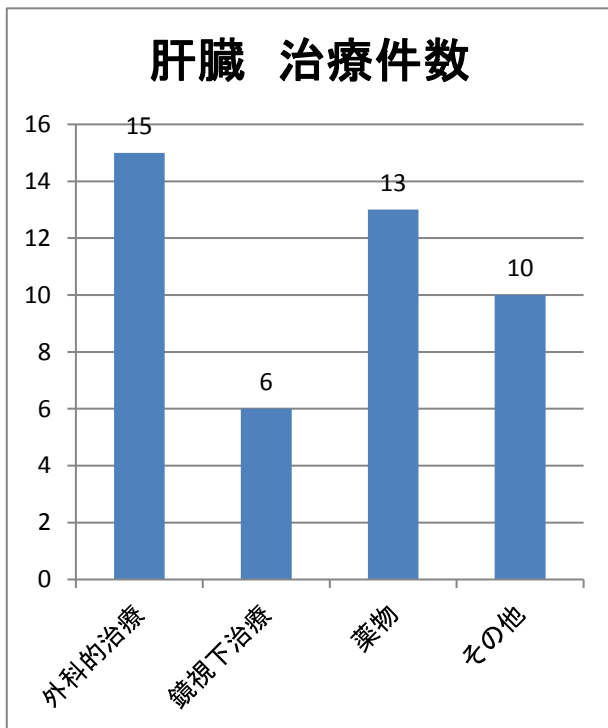
乳房は総数 308 件で、「外科的治療」128 件、次に「薬物治療」114 件、「放射線治療」66 件です。



胃は総数 201 件で、「外科的治療」72 件で、次に「内視鏡的治療」71 件、「薬物治療」45 件、「鏡視下治療」13 件です。



肺は総数 100 件で、「薬物治療」36 件、次に「鏡視下治療」28 件、「外科的治療」21 件、「放射線治療」15 件です。



肝臓は総数 44 件で、「外科的治療」が 15 件で、次に「薬物治療」13 件、「鏡視下治療」6 件で、「その他」が 10 件です。



上記のフロー図は、院内がん登録データの作成から提出までの手順です。「がん」と診断されてから、症例の登録を行い、データ化され提出まで2年を要し、さらに「予後調査」を行い、データ提出を行います。

墨東病院のがん診療についてのお問い合わせは、「がん診療推進委員会事務局」までご連絡ください。  
(診療情報管理室・病歴室 早崎・飯村 03-3633-6151 内線 2160)